

第1学年 国語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「国語1」（光村図書） 「中学書写一二三年」（光村図書） 副教材：「国語スイッチ」（正進社） 「学習漢字ノート」（浜島書店） 「つまづかない文法の学習」（新学社）	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・学習漢字ノート ・書写の道具（必要に応じて） ・副教材（必要に応じて） ・Chromebook
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、言葉の意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。 ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしましょう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の練習をしましょう。何度も書いて覚え、覚えた漢字を使えるようになりましょう。 ・教科書を繰り返し読み、本文の内容を理解するようにしましょう。 ・予習や復習に「国語スイッチ」を使いましょう。 ・本や新聞を読む習慣を身につけ、使える言葉を豊かにしましょう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計5回の定期試験を行います。副教材の「学習漢字ノート」や「国語スイッチ」などで試験範囲を復習しましょう。文法は「つまづかない文法の学習」で復習しましょう。 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」について、かたよりなく学びましょう。 		
学習上の注意	<p>「授業はみんなで創るものです！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や態度に気をつけて、集中して授業に取り組みましょう。 ・忘れ物がないようにしましょう。 ・提出物の期限は守りましょう。 ・授業のはじめに学習の見通しをもちましょう。 （「何について、どれくらいの時間で、どんな順番で、どんな方法で学習するのか」、 「何ができるようになれば良いか」を確かめましょう。） ・教科書などを読んで、課題解決に必要な情報を集めましょう。集めた情報は内容ごとに整理しましょう。また、自分の思いや考えを書いたり話したりするときは、適切な言葉や表現を用いることを心がけましょう。 ・情報を集めたり、整理したり表現したりするときは、積極的に他の人と意見を共有したり、比べたりしましょう。わからないことや詳しく知りたいことがあれば、積極的に質問しましょう。 ・3学期に百人一首大会を行います。 		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって						
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法				
一 学 期	4	「朝のリレー」	中 間	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・中1の漢字の読み書き。 ・辞書的な意味と文脈上の意味に注意しているか。また、語彙は豊かになっているか。 ・文法、音声の働き、表現技法について理解できているか。 ・情報の扱い方、古典や書写などの言語文化について、理解できているか。 	漢字テスト 定期テスト 授業の取り組み 書写 暗唱 等				
		「野原はうたう」								
	5	「はじまりの風」								
		「話の構成を工夫しよう」								
		「ダイコンは大きな根？」								
	6	「ちょっと立ち止まって」					期 末	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じて話題や材料を整理し伝え合うことができているか。 ・自分の考えや根拠が明確となるように話の構成を考えられているか。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているか。 ・話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、考えをまとめられているか。 ・段落を意識して、文章の構成や展開を考えることができているか。 ・根拠を明確にして、伝わりやすくなるように表現を工夫しているか。 ・読み手の立場になって推敲しているか。 ・叙述や描写から内容を理解しているか。 ・構成・展開・表現について根拠を明確にして考えているか。 	ワークシート 聞き取りテスト 定期テスト 授業の取り組み 読書感想文 等
		「情報を整理して説明しよう」								
7	「空の詩 三編」									
	「比喩で広がる言葉の世界」									
二 学 期	9	「文法への扉1	期 末	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習に積極的に取り組み、思いや考えを確かなものにして、進んで読書に取り組み、生活において言葉を適切に使い生かそうとする姿勢がみられたか。 	振り返り ワーク ワークシート 宿題の取り組み 授業の様子				
		「言葉のまとまりを考えよう」								
		「読書を楽しむ」								
		「大人になれなかった弟たちに…」								
	10	「書写」								
		「星の花が降るころに」								
		「項目を立てて書こう」								
11	「聞き上手になろう」	中 間	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・中1の漢字の読み書き。 ・辞書的な意味と文脈上の意味に注意しているか。また、語彙は豊かになっているか。 ・文法、音声の働き、表現技法について理解できているか。 ・情報の扱い方、古典や書写などの言語文化について、理解できているか。 	漢字テスト 定期テスト 授業の取り組み 書写 暗唱 等					
	「漢字の音訓」									
12	「『言葉』を持つ鳥、シジュウカラ」									
	「根拠を明確にして書こう」									
三 学 期	1					「文法への扉2	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習に積極的に取り組み、思いや考えを確かなものにして、進んで読書に取り組み、生活において言葉を適切に使い生かそうとする姿勢がみられたか。 	振り返り ワーク ワークシート 宿題の取り組み 授業の様子
						「言葉の関係を考えよう」				
	2					「大阿蘇」				
		「いろは歌」								
	3	「蓬萊の玉の枝」								
		「今に生きる言葉」								
		「書写」								
3	「百人一首」									
	「『不便』の価値を見つめ直す」									
	「話題や展開を捉えて話し合おう」									
3	「少年の日の思い出」									
	「文法への扉									
	「単語の性質を見つけよう」									
3	「二十歳になった日」									
	「構成や描写を工夫して書こう」									
	「一年間の学びを振り返ろう」									

第2学年 国語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「国語2」（光村図書） 「中学書写一・二・三年」（光村図書） 副教材：「国語の学習」（明治図書） 「くりかえし漢字」（秀学社） 「すらすら基本文法」（浜島書店） 「新・国語の便覧」（正進社）	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ノート くりかえし漢字 ・書写の道具（必要に応じて） ・副教材（必要に応じて） ・Chromebook
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、ことばの意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。 ・論理的に考えたり、共感・想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合い、自分の考えを確かなものにしましょう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の練習をしましょう。 ・復習に「国語の学習」を使いましょう。 ・本や新聞を読む習慣を身につけましょう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計5回の定期試験を行います。副教材の「くりかえし漢字」や「国語の学習」などで試験範囲を復習しましょう。文法は「すらすら基本文法」で復習しましょう。 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」について、かたよりなく学びましょう。 		
学習上の注意	<p>「授業はみんなで創るものです！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や態度に気をつけて、集中して授業に取り組みましょう。 ・忘れ物がないようにしましょう。 ・提出物の期限は守りましょう。 ・正しいことばで話すことを心がけましょう。人の意見はしっかり聞き、また相手に伝わる話し方を心がけましょう。 ・ていねいに、見やすいノート作りを心がけましょう。また、板書をただ写すだけではなく、自分の意見や友達の意見も積極的に書き込むなど工夫したノート作りを心がけましょう。 <p>・百人一首大会を行う予定です。</p>		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって			
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法		
一 学 期	4	「見えないだけ」 「アイスプラネット」	中 間	知識技能 ・社会生活に必要な話す聞く、書く、読むなどの国語の知識や技能が身についているか。 ・日本の言語文化に親しみ、理解することができるか。	定期テスト 提出物 小テスト		
	5	「意見を聞き、整理して検討する」 「魅力的な提案をしよう」 「枕草子」 「クマゼミ増加の原因を探る」					
	6	「情報を整理して伝えよう」 「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 「言葉の力」 「類義語・対義語・多義語」	期 末	思考力判断力表現力 ・論理的に考える力が身についているか。 ・共感したり想像したりする力が身についているか。 ・人との関わりの中で伝え合い、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるか。	授業の様子 定期テスト 小テスト 提出物 (ノート・ワークシート・作品等)		
	7	「用言の活用」 「メディアの特徴～」					
	9	「ヒューマノイド」 「字のない葉書」 「敬語」 「表現を工夫して書こう」				中 間	主体的に学習に取り組む態度 ・言葉の持つ価値を認識し、言語文化を大切にしようとしているか。 ・思いや考えを積極的に伝え合おうとしているか。 ・読書に親しみ、生活に役立てようとしているか。
	10	「モアイは語る」 「適切な根拠を選んで書こう」 「月夜の浜辺」 「平家物語」					
	11	「徒然草」 「漢詩の風景」 「助詞助動詞」 「君は「最後の晚餐」を知っているか」					
12	「立場を尊重して話し合おう」 「「自分らしさ」を認め合う社会へ」 「書写」 「百人一首」						
1	「走れメロス」 「話し言葉と書き言葉」	学 年 末					
2	「描写を工夫して書こう」 「鍵」						
3	「国語の学びを振り返ろう」						

第3学年 国語

学習教材および学習の進め方

<p>使用教材</p>	<p>教科書：「国語3」（光村図書） 「中学書写 一二三年」（光村図書） 副教材：「国語スイッチ3」（正進社） 「つまずかない文法の学習」（新学社） 「学習漢字ノート」（浜島書店） 「新・国語の便覧」（正進社）</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ノート ・副教材（必要に応じて） ・書写の道具（必要に応じて） ・Chromebook
<p>学習の進め方</p>	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、語句の意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。 ・論理的に考えたり、共感・想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたり高めたりしましょう。 ・言葉がもつ価値を認識し、読書を通して自分を向上させ、日本の言語文化に積極的に関わりたいしょう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くりかし漢字3」で漢字練習をしましょう。 ・復習に「国語の学習」を使いましょう。 ・本や新聞を読む習慣を身につけましょう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計5回の定期試験を行います。「くりかえし漢字3」や「国語の学習」のほか、「学習の達成」のプリントで試験範囲を復習しましょう。文法は「つまずかない文法の学習」やスタディプロジェクトで復習しましょう。 ・学習内容について、知識技能と思考判断表現のバランスを偏りなく勉強しましょう。 		
<p>学習上の注意</p>	<p>「授業はみんなで創るものです」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に教科書を読んで、集中して授業に取り組みましょう。 ・忘れ物がないようにしましょう。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・正しいことばで話すことを心がけましょう。人の意見をしっかりと聞き、相手に伝わる話し方を心がけましょう。 ・ていねいで、見やすいノート作りを心がけましょう。板書をただ写すだけではなく、自分の意見や友達の意見も積極的に書き込むなど工夫したノート作りを心がけましょう。 		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって											
	月	単元計画		評価の観点		評価の方法									
一 学 期	4	「世界はうつくしいと」「握手」 「漢字に親しもう1」「聞く」	中 間	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の大体が読めて文章の中で使えるか。 ・慣用句などの理解を深め話の中で使えるか。 ・敬語を場に応じて使えるか。 ・情報の信頼性を確かめ、具体抽象の関係を理解しているか。 ・歴史的背景に注意して古典を読み、引用するなどして使えるか。 ・文字文化に触れ、効果的に書けるか。 ・生き方や社会との関わり方に結びつくような読書ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小テスト ○定期テスト ○課題 									
	5	「文法への扉1」 「説得力のある構成を考えよう」 「言葉1」「学びて時に之を習ふ」 「作られた『物語』を超えて」													
	6	「思考のレッスン」 「論理の展開を意識して書こう」 「漢字1」「漢字に親しもう2」 「俳句の可能性」「俳句の創作教室」 「俳句を味わう」 「言葉の釣り糸を垂らす」					期 末								
	7	「言葉2」「語彙を豊かに」 「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」 「情報整理のレッスン」 「読書を楽しむ」 『私の一冊』を探しにいこう 書写													
	9	「挨拶」「故郷」「推敲」「言葉3」						中 間	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて社会生活の中から題材を決め、集めた情報の信頼性を確認し、多様な考えを想定しながら、伝え合ったり書いたりできるか。 ・論理的展開を考えて表現を工夫したり、評価したりして、自分の考えを深めることができたか。 ・論理や展開の仕方をとらえ、批判的に読んだり評価したりして考えを広げられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の様子 ○小テスト ○定期テスト ○課題 				
	10	「聞き上手になろう」「漢字2」 「複数の意見を読んで、考えよう」 「考えを効果的に伝えよう」 「漢字に親しもう3」 「文法への扉2」「初恋」													
	11	「和歌の世界」「音読を楽しむ」 「君待つと」「和歌の表現技法」 「俳句と俳諧」「つながる古典」 「古典名作選」	期 末												
	12	「それでも、言葉を」「漢字3」 「漢字に親しもう4」「話し合い」 「合意形成に向けて話し合おう」 「本は世界への扉」													
	二 学 期	1					「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」「律儀な桜」					学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学習課題に取り組むことができるか。 ・よりよい表現や理解を求めて改善しようとする探求心があるか。 ・話の展開に合わせて意見を述べたり、他者の意見を受けてさらに理解を深めたりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の取り組み状況 ○授業の様子
		2					「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」 「初日」「漢字に親しもう5」								
		1					「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」「律儀な桜」								
		2					「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」 「初日」「漢字に親しもう5」								
三 学 期	1	「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」「律儀な桜」	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学習課題に取り組むことができるか。 ・よりよい表現や理解を求めて改善しようとする探求心があるか。 ・話の展開に合わせて意見を述べたり、他者の意見を受けてさらに理解を深めたりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の取り組み状況 ○授業の様子 									
	2	「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」 「初日」「漢字に親しもう5」													

